

未来につながる Vol.5
エコ・ワード

ニュースで耳にする環境「ワード」。
明日への行動につなげてみよう。

問 環境政策課 / Tel674-7486

問題 「プラスチック・スマート」
キャンペーンとは？



- A 軽くて持ち運びやすいプラスチックを使う取り組み
- B 高機能プラスチックを開発する取り組み
- C プラスチックと賢く付き合うための取り組み

答え C プラスチックと賢く付き合うための取り組み

解説

近年、世界中で注目されている海洋プラスチック問題。海に流出するプラスチックごみの量は世界中で年間800万トンとも言われていて、2050年には海洋中の魚の量を超えると試算されています。

また、海洋プラスチックごみは長期にわたり海に残存し、海の流れや紫外線の影響で細かく砕かれて回収が難しくなったり、魚が誤って食べたりすることで、生態系への影響も懸念されています。

高槻市には海がないから関係ない？

実は、海洋プラスチックごみの約8割は街ごみ由来と言われています。ポイ捨てや不法投棄などにより放置され、散乱したごみが、雨や風によって河川に入り、海に流れ出てしまいます。生活で出たごみを海に漂着させないために、プラスチックと賢く付き合うことが大切です。



私たちができること

使用を減らす

マイボトルやマイバッグの使用、簡易包装の商品を選ぶ

適正処理をする

ゴミの分別やリサイクルをする。ポイ捨てをしない

回収する

街中や河川、海岸で清掃活動を行う

分解できる製品を選ぶ

生分解性プラスチックなどを利用した製品を選ぶ